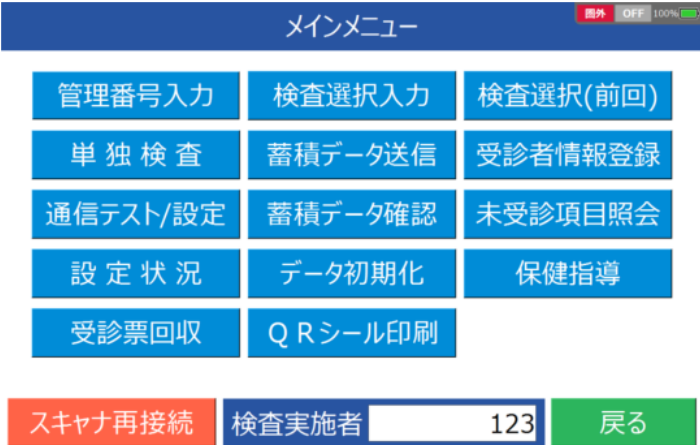
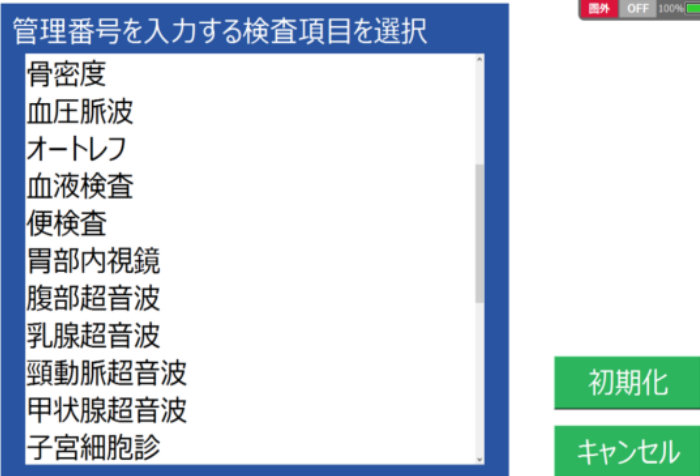


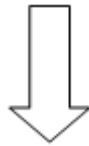
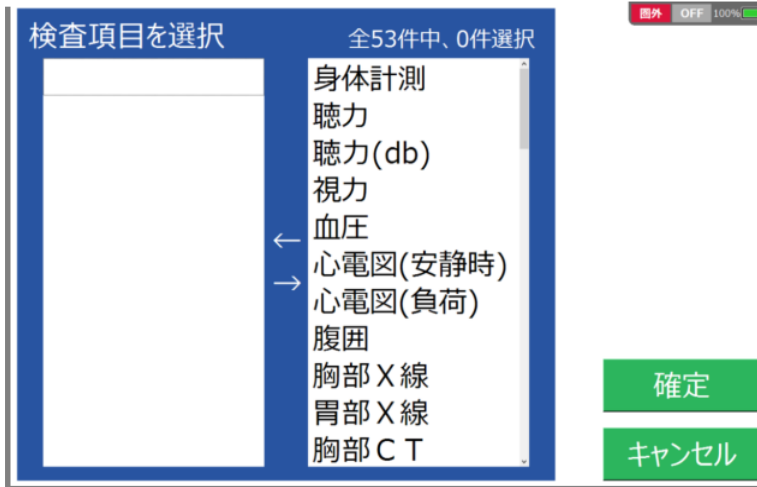
コード No.	2.2.3.1	項目	採血	改定日	2021年3月2日
内 容				備 考	
<p><b>採血</b></p> <p>&lt;準備するもの&gt;</p> <p>採血用ケース</p> <p>救急絆創膏・ヒルドイド軟膏・紙絆・軟膏入れ（5ヶ）</p> <p>予備の針（翼状針10本 23G注射針10本）・駆血帯（3本）</p> <p>清浄綿・敷シート・肘枕（2ヶ）・バット・チューシャバン</p> <p>グルコン酸クロロヘキシジン綿・酒精綿1箱・21G針1箱</p> <p>受けパット・封筒</p> <p>ディスポ注射器・同意書・予備の採血管用ラベル・看板・カイロ</p> <p>ビニール袋（透明ビニールの大小・黒ビニ）・湿布・包帯ネット</p> <p>ディスポラテックス手袋・霧吹き消毒・ゴムキャップ（再栓用）</p> <p>&lt;当日用意するもの&gt;</p> <p>クーラーボックス・採血管・採血管立て・止血ベルト・ゴミ袋</p> <p>予備採血管・感染性廃棄ボックス・白ガム</p> <p>21Gマルチ針・真空用ホルダー・酒精綿・保冷剤</p> <p>&lt;タブレット準備&gt;</p> <p>1) 「1.管理番号入力」を選ぶ。</p>  <p>2) 「血液検査」をタッチする。</p> 					

コード No.	2.2.3.1	項目	採血	改定日	2021年3月2日
内 容				備 考	
<p>3) 開始NOを入力 (3班なら130001)  終了NOを入力 (余裕をもった番号)  次回取得NOを入力 (開始NO)  NOシール発行は「3.特2」を選択  「確定」をタッチする。  *特2を選ぶと、個人票・検体本数分印刷する。  施設の健診では特2にするとシールが一枚出ます。その他の  生化、血算、血糖に貼る黒枠のシールは試験管に  貼られて試験管理システムから必要本数出てきます。  巡回も基本的に特2です。</p> <div data-bbox="229 698 954 1137" data-label="Image"> </div> <p>4) 「登録」をタッチする。「登録」をタッチするとメインメニューに戻る。</p> <div data-bbox="217 1272 963 1711" data-label="Image"> </div>					

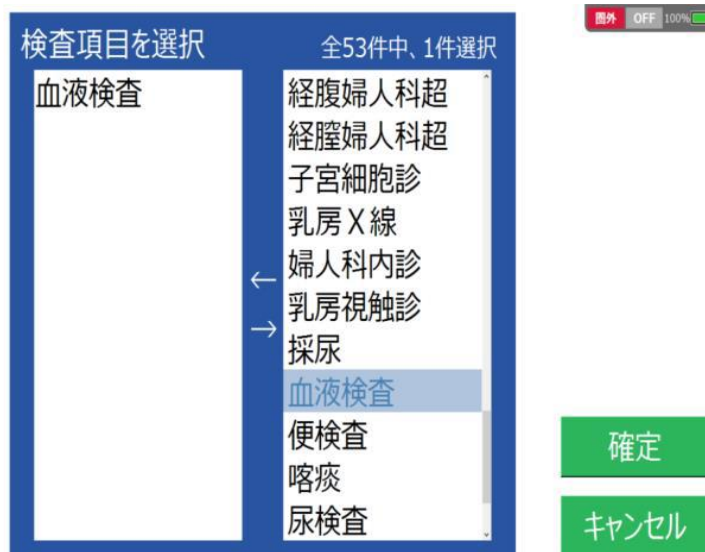
コード No.	2.2.3.1	項目	採血	改定日	2021年3月2日
---------	---------	----	----	-----	-----------

内 容				備 考	
-----	--	--	--	-----	--

5) メインメニューの「検査選択入力」をタッチし「血液検査」を探しタッチする。



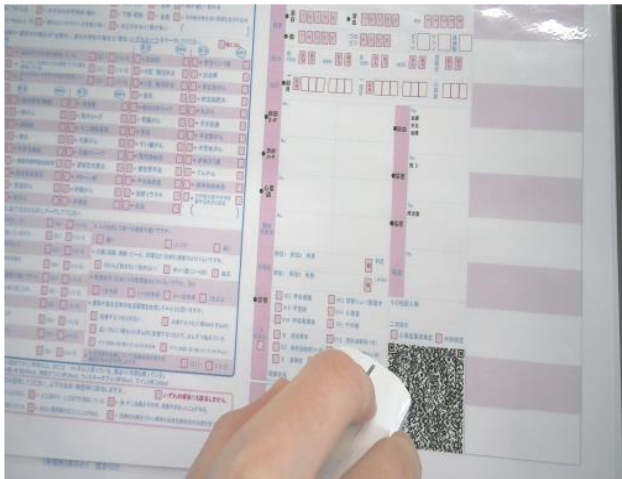
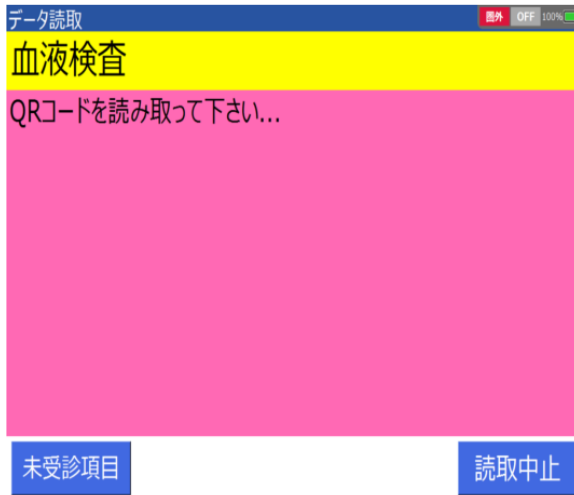
このような画面になる。「確定」をタッチする。



コード No.	2.2.3.1	項目	採血	改定日	2021年3月2日
---------	---------	----	----	-----	-----------

内 容				備 考	
-----	--	--	--	-----	--

6) この画面になったらハンドスキャナで受診票のQRコードを読み込ませる。(QRコード2つ並んでいるときは左側を読ませる。)



7) 採血No.は自動的に番号順に発番されるので飲食した時刻を「食事時刻」に入力する。○注2 4時間法で入力する。

血液検査		男 0101083863	未受診	国外 ON	50%
白紙	一三二三〇	31歳	7	8	9 CL
血算		P	4	5	6 BS
生化学	血糖		1	2	3
開始No. 130001	終了No. 139999		0	◀	▶
採血No. 130001			前項目	次項目	
食事時刻			食後	登録	
食後時間			前に戻る	中止	



8) 食事時刻を入力すると自動的に食後時間が入力される。「登録」をタッチする。

血液検査		男 0101083863	未受診	国外 ON	47%
白紙	一三二三〇	31歳	7	8	9 CL
血算		P	4	5	6 BS
生化学	血糖		1	2	3
開始No. 130001	終了No. 139999		0	◀	▶
採血No. 130001			前項目	次項目	
食事時刻 0700			食後	登録	
食後時間 4.50			前に戻る	中止	

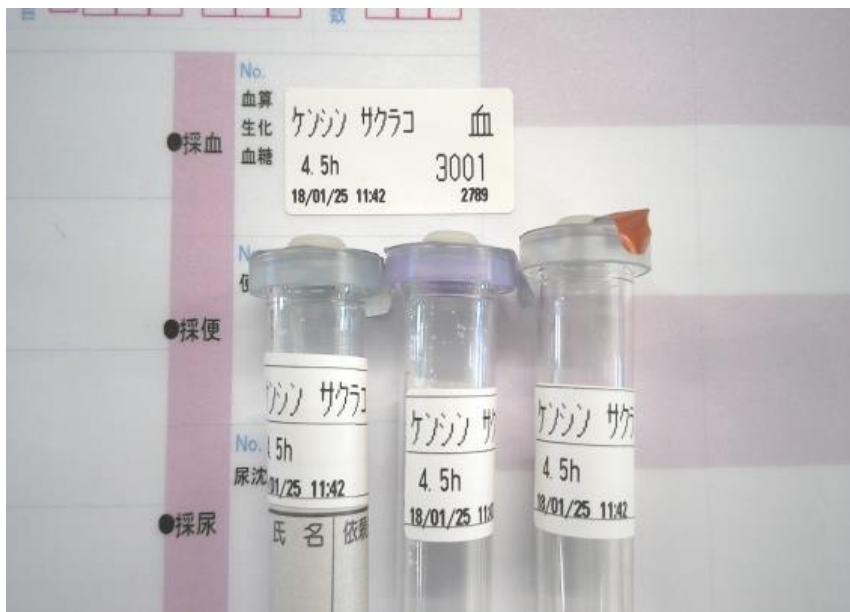
9) 「登録」をタッチする。



<作業手順>

- 1) 採血者は両手に手袋を装着し、採血すること。
- 2) 受診者から受診票を受け取り、フルネームで名前を確認する。
- 3) 受診票にタブレット受付出力したシールを貼り、同一番号の採血管を取り受診票に貼った番号と採血管が3本とも同じ番号であることを受診者に確認して頂く。\* 枠なしラベルを受診票の血液欄に貼る。黒枠ラベルは試験管に貼る。

ガイドラインに則り、受診者本人に姓名を述べてもらう。

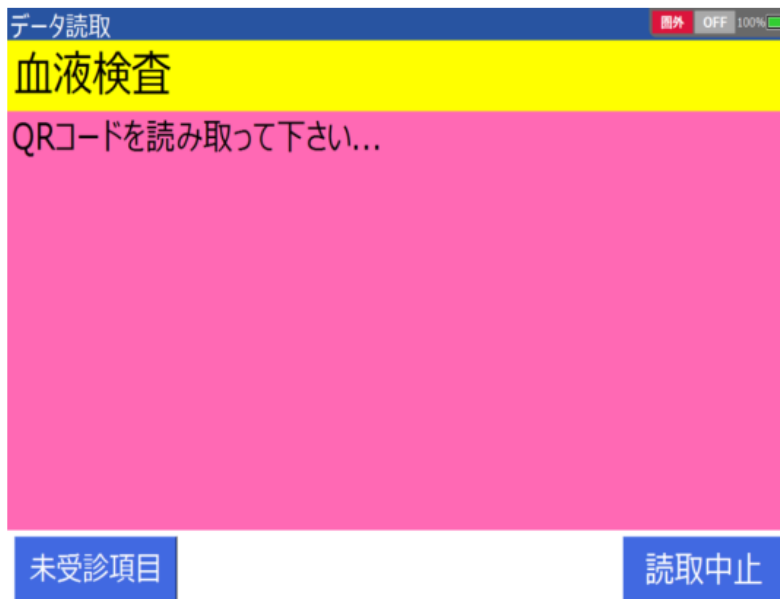


コード No.	2.2.3.1	項目	採血	改定日	2021年3月2日
---------	---------	----	----	-----	-----------

内 容				備 考	
-----	--	--	--	-----	--



4) 再印刷の必要がなければ「いいえ」をタッチすると次の受診者の検査が行える。(QRスキャン画面)  
 採血オプションがある場合、採血管を足す必要があるため再印刷を選択し、シールを必要本数分試験管に貼ります。余りは受診票内の余白に貼るか、受診票の採血欄に上りする。

\*ラベル発行登録後、採血中止になった場合QRを再度スキャンし中止を押してください。  
 中止ラベルを受診票の採血に上貼りしてください。  
 (現行通り日報に欠番の理由の記載はしてください)



コード No.	2.2.3.1	項目	採血	改定日	2021年3月2日
内 容				備 考	
<p>5) 手袋した状態で手指消毒をおこなうこと(※1)</p> <p>6) 駆血帯装着前に、目視及び指で触れて穿刺すべき血管について見当をつける。</p> <p>7) 採血針とホルダーを接続後駆血し、親指を中に握って頂きアルコール綿で消毒後静脈に穿刺(※2)</p> <p>8) 採血針を血管に対して30°以下程度の角度で刺入し採血針が動くことのないようにホルダーを固定する。</p> <p>9) 採血管をホルダー内へまっすぐ差し込み、血液の流入を確認 血糖・血算・生化の順に採血し、血糖と血算は確実に転倒混和を行い凝固させないように注意する。</p> <p>10) 必要な血液を採り終えたら、ホルダーから、採血管をぬく(※3)</p> <p>11) 握った手をゆっくり開いて頂いてから駆血帯を外し針を抜く。</p> <p>12) 穿刺痕にチューチャバンを貼り、止血ベルトを巻き、後程止血ベルトを回収する旨を伝える。(※4)</p> <p>13) 検体は順番を間違えないように検体立てに戻す。</p> <p>14) 受診者に受診票を渡し、次の受診項目と場所を丁寧に案内する</p>				<p>(※1) 1事業所毎に手袋を交換し、一人毎にアルコールにて手指消毒する</p> <p>(※2) アルコール禁忌の方は、グルコン酸クロルヘキシジン綿を使用し、消毒する。</p> <p>(※3) ホルダーは使い捨てる。また、使用済みの注射針はリキャップせずに廃棄Boxにする。</p> <p>(※4) 止血は最低でも5分程度圧迫する</p>	
<p>&lt;注意事項&gt;</p>					
<p>1. 採血前に衣類が上腕を圧迫していないか注意し、肘がまっすぐ伸び枕にしっかり固定されている状態で行う。</p> <p>2. うっ血を2分以上続けると血液組成に変化を生じるので縛ったら速やかに採血する。</p> <p>3. アルコールによって溶血するので完全に乾いてから穿刺する。</p> <p>4. アルコール過敏症の方には清浄綿で別に消毒する。</p> <p>5. 穿刺後はホルダーをしっかり固定する。特に採血管の差し換えの時、針が動かないように注意する。</p> <p>6. 血管が細く真空で採血しにくい時はディスポのシリンジを使用。針はこの時の部位によって変える。ピストンを引く際、強く早く引くと血液が勢いよく流入して溶血を起こしたり又、強い陰圧で血液が流入しにくくなるので、強い力で引かない。万が一、圧力に負け血管がつぶれた場合、もう一人の人に駆血帯を緩めたり締めたりしてもらい採血する。(※5)</p> <p>7. 受診者から肘関節以外での採血を希望された場合、同意書にサインをしていただき実施する。(※6)</p> <p>8. 穿刺後強い痛みや痺れの訴えがあった場合は直ちに針を抜き、適切なケアをする。(※7)</p> <p>9. 2回目の採血は、違う腕で実施する。</p> <p>10. 2回失敗した時は受診者に同意書にサインをして頂き、採血を中止する。基本は2回までとする。受診者から希望があった場合には、リスクを説明し同意書にサインしていただいて採血を実施可。但し、3回目の採血は施行者を変えること(※6)</p>				<p>* アーム・ダウン方式 受診者の手が肩との水平位置より、下になるように枕に腕を置いていただく。</p> <p>(※5) 22G・23Gなど細い針を使用する場合は溶血や接続部が外れる恐れがあるので採血管に分注の際はシリンジは押さない事</p> <p>(※6) 別紙 「採血同意書」参照</p> <p>(※7) 別紙 「採血の処置に関する内容詳細」参照</p> <p>(※6) 別紙 「採血同意書」参照</p>	



コード No.	2.2.3.1	項目	採血	改定日	2021年3月2日
内 容				備 考	
<p>1 1. 中止した場合は、後日再採血を実施するか、完全に中止するか受診者に確認し、その旨を班長から担当者様に説明する。  その際、受診者に採血同意書の記入を行って頂くこと。(※6)</p> <p>1 2. どうしても必要量採血できない場合は、生化・血算を優先し血糖はHbA1cで良いかを現場で班長に確認してもらう。</p> <p>1 3. 止血ベルトはきつく締め過ぎないように注意する。</p> <p>1 4. 採血は主に肘関節の前後5cm以内で下記の血管で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 橈側正中皮静脈  (太い皮神経が走っているので深く刺し過ぎないように注意)</li> <li>・ 橈側皮静脈</li> <li>・ 前腕正中静脈</li> <li>・ 尺側正中皮静脈  (近くを動脈や細い皮神経が多く走っているので注意)</li> </ul>				<p>(※6) 別紙  「採血同意書」参照</p>  <p>図 3-19 前腕・肘窩の皮静脈</p>	
<p>&lt;両肘関節で採血困難と思われる場合&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 他の採血者に代わる。</li> <li>2) ・ 採血を最後にし、温湿布などをしながら他の検査を済ませる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホカロンにタオルを巻き、肘関節内側にあてる。</li> <li>・ 手先が冷たい時は、ホカロンを直接握らせて手先から温める。</li> </ul> </li> </ol> <p>* 上記の対応をとっても採血が困難と思われる場合は無理に刺すことはせず、後日採血させて頂けるよう受診者様へ説明を行う。受診者様の理解を得られたら班長へ報告し、事業所の担当者様へ説明してもらう。</p>				 <p>図 3-21 手背静脈</p>	

コード No.	2.2.3.1	項目	採血	改定日	2021年3月2日
内 容				備 考	
<p data-bbox="150 181 304 226"><b>保管方法</b></p> <p data-bbox="150 257 1034 338">巡回健診で移動中は保冷剤の入ったクーラーボックスに入れ、帰社し検体数確認後直ぐに検体用冷蔵庫へ入れます。</p> <p data-bbox="150 421 379 465"><b>検体確認方法</b></p> <p data-bbox="150 497 1050 622">①健診終了後、現場にて PC から印刷した「検査コース別人数照会」の採尿の数と実際の検体の数が相違ないことを目視確認し、印をし、日報に記入する。</p> <p data-bbox="150 638 1038 719">②帰社後、「検査コース別人数照会」と検体数を合わせ、検体授受ファイルに記入し確認印をする。</p>				<p data-bbox="1074 163 1505 244">※保冷剤は必ず 2 つ入れること。</p> <p data-bbox="1074 259 1505 434">※車両内が暑くなる場合は要注意。(夏場の直射日光や暖房吹出口付近等に置かないこと。)</p> <p data-bbox="1074 497 1505 577">※検査コース別人数照会は各現場で必ず印刷する。</p> <p data-bbox="1074 638 1505 813">※採血オプション検査追加で検体必要量が増えた場合、採血本数が増加、PC 上と異なるので注意</p>	